

北 総 の カ

～思いを伝えるチーム ほ・く・そ・う～



銚子市立清水小学校の学力向上に向けた取組

銚子市立清水小学校における「ちばっ子の学び変革推進事業」の取り組みについて紹介させていただきます。清水小学校には、以下のような課題がありました。

- ・進んで課題を見つけたり、計画的に学習をしたりすること
 - ・基本的な生活習慣の乱れや学習用具の不揃い等による学習意欲の低下
 - ・目的に応じて文章を読み書きしたり文章や図表等を結び付けて表現したりすること
- そこで国語科を中心として、授業改善と家庭との連携に取り組みました。

【「書くこと」に重点を置いた授業改善】

- 目的意識・相手意識をもたせる言語活動の設定や授業展開をする。
- 学習のゴールが明確になるような教師モデルの作成・提示をする。
- 思考し表現する力を高めるために、伝え合う場を工夫し設定する。

【学びに向かう基本的な姿勢の確立】

- 年3回の学力向上推進週間の実施
 - …学校と家庭の役割を明確にし、連携した取組
- 事前 … 児童への周知（全校集会）
- 家庭への周知（学力向上たより）

学校 … 学習のしみつつ

（姿勢、下敷きの使用、四角で学習問題とまとめを囲む）+ α （自分の考え）

「学習がんばりカード」を使用し、毎日振り返りを行う。

家庭 … 生活のしみつつ（宿題・家庭学習は学年×10分、準備、就寝時間）

「生活がんばりカード」を使用し、家庭でのよりよい学習環境づくりを促す。

事後 … 取組状況（各カードの集計、考察、児童の様子）を家庭へ周知（学力向上たより）

これらの実践を通して、以下の成果が見られました。

- ・学習のゴールを示すことで、「書くこと」の目的が明確になり、単元の最後まで学習意欲が継続するとともに、粘り強く書く活動に取り組むことができた。
- ・文章表現や効果等について、視点を明確にして伝え合うことで、目的に合わせて表現を工夫することができた。
- ・定期的な学力向上推進週間の実施により、学習用具の準備や家庭での学習時間の向上等、児童の情意面での変化が見られた。

清水小学校では職員研修で全国学調の誤答分析を行い、ポイントを絞って授業改善につなげることができました。また、全校同一歩調で学習規律を統一することや家庭学習への取り組みを行うことで、職員一丸となって一貫した指導を行っています。



家庭学習の様子を全校で共有